



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会
委員長

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

黒澤 信之
大平 謹一郎

令和元年7月22日(月) 第3回 通算第1537回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市栄町5の1 ホテル辰巳屋7F ☎(024)524-1010・FAX(024)524-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第3回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 相澤 隆会長
- ◇ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 西形 健吉 吉会員
- ◇お客様並びにビジター紹介
R1第2530地区県北第一分区
ガバナー補佐 遊佐 金一様
分区幹事 内藤 哲太郎様
分区幹事 濱崎 広志様
東邦銀行西福島支店 支店長 根本 いずみ様

◇入会式

根本 いずみ様 (東邦銀行西福島支店支店長)
会長あいさつ 相澤 隆会長



皆さんこんにちは。本日は、今年度第1回目のガバナー補佐訪問ということで、遊佐金一ガバナー補佐をはじめ、濱崎広志・内藤哲太郎両分区幹事にご臨席をいただきました。誠にありがとうございます。

これから1年間、よろしくお願いいたします。

ガバナー補佐の遊佐様は、二本松ロータリークラブに所属されておりまして、「非常に、男気のある方」との評判を聞き及んでおります。後ほどご本人から自己紹介を含めましてスピーチをしていただくことになっております。

また、本日は根本いずみ会員の入会初例会ということであります。当クラブの会員はやさしい方々ばかりですので、安心してロータリーを楽しんでいただきたいと思っております。

さて、今年の夏は、あいにくの天気が続いておりますが、日本気象協会の今後1カ月の長期予想によりますと、前半は曇りや雨の日が多いものの、後半には平年と同様に晴れの日が多くなると発表されております。当クラブにおきましては、来週が「納涼家族夜間例会」、翌週には「JR福島駅西口清掃」および早朝例会と理事会、さらに「ゴルフコンペ」も予定されておりますので、天気の回復を期待したいと思います。

また、地区行事としましては、各委員会のセミナーがスタートしております。去る13日に郡山ユラックス熱海で「クラブ研修リーダー会議」が開かれ、20

日には県農業総合センターで「ロータリー財団セミナー」が開催されました。27日には郡山ユラックス熱海で「会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナー」も予定されております。委員長・役員の方々には、お忙しい中恐縮ですが対応をよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、昨日、投・開票されました参議院選挙では、自民・公明の与党が71議席、野党・その他が53議席という結果となりました。ロータリークラブは特定の政治や宗教に関わらず、すべての文化、人種、信条に開かれた団体であり、政治と宗教の話はタブーとされておりますので、論評の方は避けたいと思っておりますが、その根拠はどこにあるのかということについて、ちょっと紹介させていただきます。

国際ロータリーの「標準ロータリークラブ定款」、および当クラブの定款も同様ですが、第16条「地域社会、国家、および国際問題」の第3節「政治的テーマの禁止」の中で、①本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、討議ないし見解を採択したり、配布したりしてはならない。また、これに関して行動を起こしてはならない②本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願してはならない。また書状、演説、提案を配布してはならないと明記されております。

一方、宗教に関しましては、RI細則の第4条「クラブ会員の身分」の中の「会員身分の制約」で、いかなるクラブも性別、人種、皮膚の色、信条、国籍または性的指向に基づき、会員身分の制約をしてはならないとしております。この信条の中には、宗教的信条も含まれており、特定の宗教に基づく主張や活動は、してはならないこととなっております。

ただ、日本人の場合は、結婚式は神道、葬式は仏教、クリスマスはキリスト教、さらに道徳では儒教など、さまざまな宗教を同時に受け入れて、違和感なく生活している特殊な民族ですので、私も誤って宗教や政治的な話をしてしまうことがあるかもしれません。その際は指摘していただければ、すぐに謝罪して取り消させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、遊佐ガバナー補佐の貴重なスピーチがございましたので、あいさつはこの辺で終わらせていただきます。

◇幹事報告 佐藤卓立幹事

○例会変更のお知らせ

・当クラブ次週の例会は、杉妻会館にて納涼夜間例会となります。

・福島北RC23日(火)の例会は、直前会長ゴルフコンペとなり休会となっております。

○その他のお知らせ

・年会費(上期)納入のご案内を差し上げております。8月中の納入をお願い致します。

・昨年度の年次報告書、今年度の年次報告書の原稿は、事務局まで早期提出をお願い致します。

・7月ロータリーレートは1ドル108円となりますのでお知らせ致します。

【委員会報告】

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤信之委員長

○遊佐金一様(県北第一分区ガバナー補佐)＝本日で5クラブ目の訪問となります。福島西RCの皆様、1年間宜しくお願ひいたします。

○内藤哲太郎様(分区幹事)＝1年間よろしくお願ひいたします。

○濱崎広志様(分区幹事)＝本日は、第一回訪問お世話になります。1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

○相澤隆会長＝遊佐金一ガバナー補佐様、内藤・濱崎両分区幹事様の今年度第1回目の訪問を歓迎いたします。1年間よろしくお願ひ致します。

○佐藤卓立幹事＝遊佐ガバナー補佐様、内藤・濱崎両分区幹事様訪問歓迎いたします。スピーチよろしくお願ひ致します。

○根本いずみ会員＝本日デビューです。よろしくお願ひ致します。

————遊佐ガバナー補佐の来訪を歓迎して————

- 大平謹一郎会員 ○齋藤武二会員 ○佐藤宗弘会員
- 佐藤慶行会員 ○鈴木悦夫会員 ○久米允彦会員
- 高梨哲男会員 ○高橋智弘幹事 ○西形健吉会員
- 野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員 ○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計18件 39,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム————ガバナー補佐スピーチ

○県北第一分区ガバナー補佐 遊佐金一様



国際ロータリー第2530地区 2019-20年度 県北第一分区ガバナー補佐を務めさせていただきます遊佐金一です。入会は1992年、今年で28年目になります。職業分類は運送業であります。所属二本松ロータリークラブです。私のロータリー歴としては、47代と54代の会長を務めました。第一回目の会長時には、初めてIMを担当しました。第二回目も同じIMの担当で、二本松市にごぞいます「JICA」の協力を得て、海外協力隊の国際奉仕活動の状況などを講演で聞き、会員の皆さんとグループ

討議した覚えがあります。第一回のガバナー補佐訪問に、同じ二本松ロータリークラブの内藤哲太郎幹事と、濱崎広志幹事と訪問させていただきました。まずもって、福島西ロータリークラブ相沢隆会長はじめ22名のクラブ会員のもと、素晴らしい一年がスタートされますこと心からお祝いを申し上げます。常日頃は、福島西ロータリークラブの皆様には、大変お世話になっておりますことに、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。また、本年度福島西ロータリークラブは、創立より36年目の年を迎えます。さて、相沢会長は本年度、RI会長のテーマであります「つながり」を大切に、身近なところ「家族や会社」の理解をしてもらい、その「つながり」を地域や社会に広げたいと抱負を述べております。一年間、大いにリーダーシップを発揮して頂きたいと思ひます。

それは、今回の第一回ガバナー補佐訪問の本題に入りたいと思ひます。

2019-20年度RIテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」であります。このテーマを最初に聞いたとき、とても分かりやすく、あまりにも奥深い事と感じました。県北7クラブには、それぞれ素晴らしい事業が地域に溶け込み育っており、それらの活動や運動を「つながり」を持ちながら大きく成長させて、色々な事にチャレンジしていかなければいけないと考えます。さらに本年度は、2020東京オリンピック・パラリンピック、更には聖火リレーの福島スタートの準備が本格化します。復興五輪としてこれまで国内は勿論、世界中のロータリアンから頂いた御支援に対する感謝の思いと、本県の復興が着実に進んでいる姿を発信する絶好の機会であります。県北7クラブと連携をしながら確実に先に進めたいと思ひます。これから、県北7クラブに積極的に足を運び、クラブ会員が笑顔になっていただけるよう、全力を尽くして参ります。皆さんの一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

本日は国際ロータリー第2530地区、県北第一分区についてお話をさせていただきます。

まず分区とは？ロータリー情報マニュアルによりまずと地区内の隣接しているクラブがひとつのグループになるように地区内を二つないしそれ以上の地域に区分して、各地域にガバナー補佐を任命するとなっております。地区によってはそれ以来、分区という訳語もグループに変えた方がわかりやすいということで、分区ではなくグループと呼んでいる地区も多いようです。さて、我々の県北第一分区であります福島・二本松・福島南・福島西・福島中央・二本松あだたら・福島21ロータリークラブの7クラブによって構成をされています。地区内は8分区に分かれており、いわき分区・会津分区・県中分区・県南分区・県北第一分区・県北第二分区・相双分区・中央分区となっております、当県北第一分区は会員数356名でのスタートであります。

本日は国際ロータリー第2530地区、県北第一分区についてお話をさせていただきます。

まず分区とは？ロータリー情報マニュアルによりまずと地区内の隣接しているクラブがひとつのグループになるように地区内を二つないしそれ以上の地域に区分して、各地域にガバナー補佐を任命するとなっております。地区によってはそれ以来、分区という訳語もグループに変えた方がわかりやすいということで、分区ではなくグループと呼んでいる地区も多いようです。さて、我々の県北第一分区であります福島・二本松・福島南・福島西・福島中央・二本松あだたら・福島21ロータリークラブの7クラブによって構成をされています。地区内は8分区に分かれており、いわき分区・会津分区・県中分区・県南分区・県北第一分区・県北第二分区・相双分区・中央分区となっております、当県北第一分区は会員数356名でのスタートであります。

今年度の分区の行事について説明をさせていただきます。

まずは「ガバナー歓迎晩餐会」であります。今年11月21日(木)二本松市のウエディングパレスかねすいで開催を予定しております。本年度は昨年同様の県北第一分区からガバナーを輩出したということで、芳賀ガバナーを県北第一分区あげて盛大に開催をしたいと考えております。皆さんの多くの参加をお願い申し上げます。ホストクラブは我々の所属する二本松ロータリークラブです。

次に「新世代会議」であります。今年11月23日(土)福島市のクーラクーリアンテサンパレスで開催を予定しております。以前の4大奉仕から2010年の規定審議会で新世代奉仕が加わり、5大奉仕となりました。さらには2013年の規定審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」へと名称が変更されました。この短い間に新世代やら青少年やらと規定審議会等RIにおいて頻繁に議題にあがること事態、世界のロータリーの中で青少年奉仕部門の重要性を物語っていると思います。青少年、そして若い世代の社会人のリーダーシップ育成のために、どうぞ参加ご協力を宜しくお願いいたします。新世代会議のホストクラブは福島南ロータリークラブです。また今年度、県北第一分区では福島南ロータリークラブが青少年交換学生を受け入れます。分区1名あたり1,500円のご支援をお願いすることとなりましたので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に「あれこれなんでも相談会」であります。来年2月2日(日)福島市のコラッセふくしまで開催を予定しております。これは福島中央ロータリークラブが主催で毎年行われておりまして、今回で20回目の開催となります。最初の名称は「中高齢者なんでも相談会」ということで開催されました。ロータリアンが自分の職業を生かして行われ、それぞれの分野での相談会を同時開催という相談会は他にはなかなか無いようです。職業奉仕の最たるものでありますので、講師派遣依頼には出来る限りのご協力をお願いいたします。

次に新会員オリエンテーションであります。来年2月15日(土)福島市のウエディングエルティで開催を予定しております。出来る限り、入会3年未満の方々には参加をお願いしたいと思います。ある調査によりますと新会員オリエンテーションを開いているクラブは、開いていないクラブに比べて、会員維持率が高いことがわかっています。またロータリーにはメンター制度と言うものがあります。常に相談に乗り、質問に答えることができる会員が傍にいる事は非常に心強いものだと思います。ホストクラブはこちらの福島西ロータリークラブです。

続いて「IM インターシティミーティング」であります。来年3月13日(金)福島市のウエディングエルティで開催されます。今年度は芳賀ガバナーも参加頂き開催される予定であります。決議や決定などはありません。さらにはIMへの出席はメークアップ

となりますので多くの参加をお願いします。今回の講演会の内容や共通テーマに関しては決まり次第皆様にお伝えしたいと思います。ホストクラブは福島ロータリークラブです。

続いては「親善ゴルフ大会」であります。来年4月12日(日)二本松市の安達太良カントリークラブにて開催を予定しております。これは勿論、スポーツを通して会員相互の親睦をはかる大切な行事でありますので是非とも多くの参加をお願いします。ホストクラブは二本松あだたらロータリークラブです。

続いて「麻薬撲滅キャンペーン」であります。例年通り来年6月に開催をされる予定です。今年度も「県北地区薬物乱用防止推進協議会」が主催しているキャンペーンに合流をして実施されます。担当はこちらの福島西RCです。また二本松及び二本松あだたらロータリークラブでも毎年同じ時期にやはり独自のキャンペーンを警察署やリリバースというボランティア団体と共に行っております。

最後に「次期幹事セミナー」であります。開催日時は決まり次第ご案内させていただきます。クラブ幹事は言うまでもなくクラブ運営の要であります。次年度幹事予定者は必ず出席をお願いします。ロータリーでは会長と幹事の両名がクラブの代表ともいえるもので、特に幹事は運営の責任者であり、事務局等のクラブ管理に関する実務的事項はすべて幹事が窓口でとても重要なポストであります。

ホストクラブは福島21ロータリークラブです。

ロータリーの組織構成は、RI、ゾーン、地区、分区、そして各クラブとなっておりますが、何事も各クラブがあつての分区であり、そして地区が成り立っています。どうか今後共、ロータリーの定款・細則の枠内ではありますが、各クラブにおいて広範囲にわたり自治権を行使されて、素晴らしいクラブ改革イノベーションにも取り組んでいただきたいと思います。

以上分区行事の説明でありましたが、福島西ロータリークラブの事業として、第23回福島西ロータリークラブ杯少年野球大会やわらじ祭りに合わせての福島駅西口清掃作業や麻薬撲滅キャンペーン、会員相互の親睦活動など、多くのクラブ行事で大変お忙しいかと存じますが、分区行事にも特段のご理解とご協力を宜しく申し上げます。また、我々二本松ロータリークラブも同じ課題であります会員増強にも共に取り組んでいきたいと思ひます。

また、芳賀ガバナーの地区の大きな行事予定と致しましては、来月8月4日(日)にRI会長のマーク・ダニエル・マローニー会長が福島県に来県されます。行事内容と致しましては8月4日に福島中央ロータリークラブが福島駅前西口のザ・セレクトンにて「創立30周年RI会長訪問特別記念例会」として出迎え、記念事業としてRC被災高校生招待プロジェクト、ウィーン国立音楽大学生の吉田昂城君のピアノ演奏会が開催される予定されております。その後、RI会長は福島市の穴原温泉に宿泊致します。8月5日は

浪江町にてRI会長による復興記念植樹と被災地視察を行います。南相馬市におきまして相双分区6クラブ合同例会、同じくグローバル補助金実施地の南相馬市にて菜の花搾油所見学、後のRI会長歓迎晩餐会は裏磐梯レイクリゾートホテルで240名の参加で開催される予定です。翌日、8月6日は会津若松市の鶴ヶ城などを訪問され郡山駅より東京に向います。

また、来年3月21日(土)より22日(日)まで、復興フォーラムが地区大会の記念事業として開催されます。参加対象者は、地区内のすべての会員と地区外のガバナー、復興に関わりのあるロータリアンの予定です。こちらは、福島南ロータリークラブの大橋パストガバナーが実行委員長で、副実行委員長が我々本年度2530地区のガバナー補佐を務めます。内容は、まだ予定の段階ですが、1日目が「被災地現状視察」「吉田昂城君の帰国演奏会と参加者懇親会」、2日目が福島市のパルセ飯坂で、午前の部が「青少年シンポジウム」、午後の部が「フォーラム」を予定しております。フォーラムの内容と致しましては、① 東日本大震災の概要、② 被災時の対応、③ 世界(国内)のロータリーからの支援、④ 被災で得られたもの(新たに生まれたもの)、⑤ これからのロータリーの活動へ、がフォーラムのプログラムの予定です。その他詳しい内容は、決まり次第ご案内させていただきます。

また芳賀ガバナーは、9の項目を本年度地区の運営方針としております。本日はその中の3項目の会員研修(RLI)の充実についてお話ししたいと思います。各クラブには、話の上手下手はさて置き、とにかくやる気のあるクラブ研修リーダーを必ず選任していただき、会員の資質向上のために活躍をしていただきたいということと、さらには分区3名のディスカッションリーダーを選任していただき、(RLI)ロータリーリーダーシップ研究会の指導のもと、将来のロータリークラブを背負って立つ若手の方の育成にも取り組まれるということでもあります。

RLIは国際ロータリーの正式なプログラムではありませんが、RIが承認している、多地区合同のプログラムです。RLIは1992年にアメリカニュージャージー州(第7510地区)にて、始められた研修組織です。RLIとはロータリークラブの将来における潜在的なリーダーのため、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するためのリーダーシップ開発プログラムを実施する各ロータリー地区の草の根の連合組織です。

その背景としてロータリー創始後、100年を経て、近年、社会構造も変化し、何より人や社会に関する意識が変わって来ていること、特に事業や職業の世界が激変している事を考慮すべきだと提唱しています。そして、青少年や婦人層のロータリアン世代間の意識や感覚に大きなギャップが生じており、社会や文化に対する相互の認識や価値観が違ってきて、ロータリー活動のあらゆる面で、複雑で矛盾した現

象を呈していることを指摘しています。このような、異なった価値観や社会意識を埋めるためには、私達は、その要因である根本的な問題点を分析し、十分に話し合い、各世代のロータリアンやロータリー世界の理解を進めない限り、今後のロータリーの発展は望めません。昨今、日本やこの県北第一分区においても、会員数の減少傾向が共通の課題となっております。ロータリーに関して十分な知識を持たないロータリアンが増え、話し合いも出来ず、十分に理解されないまま、ロータリーを去っていく人の多いことは、非常に残念なことです。そこで私たちは、本当のロータリーを理解し、ロータリアンとして活動するために、クラブの根底から、一人一人のロータリアンが、自発的に、自覚を持った話し合いをして、本当のロータリーを理解することが基本的な課題だと考えます。そして、RIの新長期計画の実践目標でも、ロータリー活性化の目標として、クラブの柔軟性と刷新性が強調されています。

RLIの目的は私たちロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、ロータリアン一人ひとりがロータリーを本当に理解して、クラブの活性化につなげて行く必要があります。すなわち、RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。

このようなRLI活動は、私たち日本、県北第一分区ひいては各クラブにとって非常に重要なことと考えます。私たちは、本来のロータリー活動を行いながら、RLIの研修も加味して、更にクラブやロータリアンの理解や指導力を高めて、ロータリーの活動の発展を期待したいと思います。本年度は、地区委員長として、地区RLI委員会の鈴木和夫委員長がDLの募集をしております。こちらのご理解とご協力も宜しくお願いします。

今後、ガバナー補佐訪問の福島西ロータリークラブの今後の日程を報告致します。次回の第2回目が来月8月19日(月)、第3回目が今年10月23日(水)こちらは芳賀ガバナーと一緒に訪問致します。第4回目が来年2月17日(月)最後の第5回目が来年4月13日(月)の予定です。

むすびに、これから一年間、県北第1分区の会員の皆さまの「つながり」と「会員の絆」を大切に、またご理解とご協力をお願いしまして、内藤幹事と濱崎幹事と力を合わせて、県北第1分区の事業と目標達成のために「気合を入れて」務めさせていただきます。

最後になりますが、国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニー会長の会長テーマ、そしてロータリー賞については、是非マイロータリーをご覧くださいと思います。

芳賀年度・相澤年度は、始まったばかりでございます。1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◇閉会点鐘 相澤 隆会長
※会報カメラ担当 大平 謹一郎会員